

議決権行使レポート

証券コード 6954

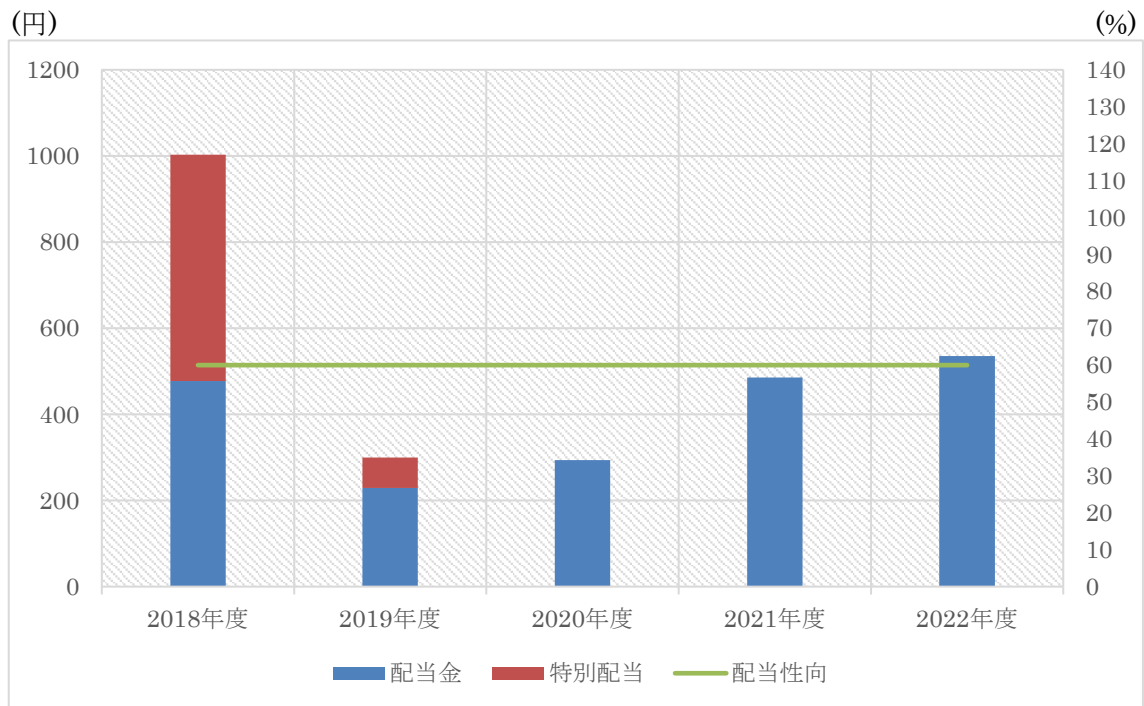
会社名 ファナック(株)

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の配当の件	○		
第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)7名選任の件			
稲葉 善治 氏 (再任)	○		
山口 賢治 氏 (再任)	○		
流石 柳二 氏 (新任)	○		
マイケル ジェイ チコ 氏 (再任)	○		
山崎 直子 氏 (再任)	○		
魚住 弘人 氏 (再任)	○		
武田 洋子 氏 (信任)	○		
第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件			
岡田 俊哉 氏 (新任)	○		
横井 秀俊 氏 (再任)	○		
富田 美栄子 氏 (再任)	○		
五十島 滋夫 氏 (新任)	○		

上記の推奨をした理由

●第1号議案：剰余金の配当の件

ファナック株式会社(以下、ファナック)の過去5年の配当性向は60%を維持しており、剰余金の配当水準について問は題ないといえるため、本議案に賛成する。



	配当金(円)	特別配当(円)	配当性向(%)
2018年度	477.21	525.90	60
2019年度	229.14	70.86	60
2020年度	294.07	0	60
2021年度	485.70	0	60
2022年度	535.66	0	60

【図表 2：ファナックの配当性向および一株当たりの配当金】

●第 2 号議案：取締役(監査等委員である取締役を除く)7 名選任の件

・稲葉 善治 氏、山口 賢治 氏、マイケル ジェイ チコ 氏

ファナックの過去 5 年の ROE は 5%以上を堅持しており、高い資本生産性を維持しているため、経営トップとして問題ないといえる。また過去の取締役会出席率も 100%であり、問題ない。その他、ガバナンス等の観点から問題は認められないため、賛成する。

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
ROE (%)	10.63	5.25	6.76	10.49	10.83

(図表 2：ファナックの過去 5 年間の ROE)

・流石 柳二 氏

流石柳二氏は新任である。同氏はかつてファナック海外子会社で取締役兼 CFO を務めた経験があり、その後は LIXIL でグループフィナンシャルコントロールマネージャを務めている。2015 年にはファナックに再入社して秘書部長や経理本部長を務めた。これらの経歴から、高い経験および見識を有しており、取締役としてふさわしい人物であると考えられるため、賛成する。

・山崎 直子 氏、魚住 弘人 氏（社外取締役）

上記再任の 2 名については、過去の取締役会において出席率が 100%であり、問題なく、個人の経歴や独立性についても問題はないため社外取締役としてふさわしいといえるため、賛成する。

・武田 洋子 氏（社外取締役）

武田洋子氏は新任である。同氏は株式会社三菱総合研究所にて、金融経済に関する調査分析や各種政策提言を行っており、経済および金融情勢について幅広い知見を有している。これらの豊富な経験や見識をもとにした、的確な業務執行に関する監督、提言等が期待される。また、株式会社三菱総合研究所とファナックの間に取引はなく、独立性に関しても問題ないといえる。これらの観点から、社外取締役としてふさわしいといえるため、賛成する。

●第 3 号議案：監査等委員である取締役 4 名選任の件

・岡田 俊哉 氏

岡田俊哉氏は新任である。同氏は長年ファナックの法務部長を務めており、ガバナンス体制の構築等に貢献してきた。この経験と豊富な知見を活かした監査および監督への貢献が期待できるため、賛成する。

・横井 秀俊 氏、富田 美恵子 氏（社外取締役）

上記再任の 2 名については、弁護士や大学教授という経験を通して培ってきた豊富な知見を活かし、取締役会および監査等委員会への貢献を果たしてきた。過去の取締役会および監査等委員会における出席率が 90%以上であり、問題なく、独立性に関しても問題は認められないため、賛成する。

・五十島 滋夫 氏

五十島滋夫氏は新任である。同氏は公認会計士および税理士として長年にわたる財務会計および内部統制に関する職務に関わってきた。代表を務めている五十島公認会計士事務

所および五十島滋夫税理士事務所はファナックとの間に取引がなく、独立性に問題はない。豊富な経験と幅広い識見、独立性の観点から、独立役員としてふさわしく、賛成する。